

医療現場における医薬品コードの位置づけに関する調査

2025-11-12

調査の目的

医療現場で医薬品を適正に使用するためには、医薬品コードの正確な管理が必要です。本調査では、医薬品のライフサイクル（製造→流通→処方→調剤→投与→廃棄）を通じて、医療現場で医薬品コードがどのように使用され、どのような課題があるかを明らかにすることを目的としています。また、GTIN コードを活用した効率的な標準コード管理モデルの構築に向けた基礎資料とすることも目的としています。

- ご回答にかかる時間: 約 20 分
- 実施主体: 令和 7 年度厚生労働科学研究費補助金「GTIN コードを活用した医療機関における効率的な標準コード管理の研究」(研究代表者: 山下貴範)
- ※ご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人や施設が特定されることはありません

回答方法は、いずれかの方法をご選択ください

- 本用紙に記載いただく
- QR コードを読み込みいただき、web フォームで回答いただく



Part 1 回答者の基本情報

Q1-1. あなた的主要なご所属・お立場を 1 つ選んでください

- 1. 病院薬剤部 (病院の規模: ☐ 200 床未満 ☐ 200-400 床 ☐ 400-600 床 ☐ 600 床以上)
- 2. 薬局 (☐ 従業員数 10 名以下 ☐ 従業員数 11-50 名 ☐ 従業員数 51 名以上 ☐ その他)
- 3. システムベンダー (☐ 病院情報システム ☐ 薬剤部門システム ☐ 物流・SPD 部門システム ☐ その他)
- 4. その他 (具体的にお書きください: _____)

Q1-2. あなたのご年齢を選択してください

☐ 20 歳代 ☐ 30 歳代 ☐ 40 歳代 ☐ 50 歳代 ☐ 60 歳代 ☐ 70 歳代以上

Q2. あなたの医療情報システムに関する経験

- ☐ 病院情報システム (☐ 5 年未満 ☐ 5-10 年 ☐ 10-20 年 ☐ 20 年以上)
- ☐ 薬剤部門システム (☐ 5 年未満 ☐ 5-10 年 ☐ 10-20 年 ☐ 20 年以上)
- ☐ 物流・SPD システム (☐ 5 年未満 ☐ 5-10 年 ☐ 10-20 年 ☐ 20 年以上)
- ☐ レセプトコンピュータ (☐ 5 年未満 ☐ 5-10 年 ☐ 10-20 年 ☐ 20 年以上)
- ☐ 上記システムの経験はない

Part 2 医薬品コードの使用状況

Q3-1. あなたの施設・業務で使用（稼働）している医薬品に関わるシステムを全て選んでください

- ☐ 病院情報システム（電子カルテ、オーダーリング等）
- ☐ 薬剤部門システム（調剤支援、注射薬混注支援等）
- ☐ 在庫管理・物流システム（SPD 含む）
- ☐ レセプトコンピュータ・薬歴システム
- ☐ その他（ ）

Q3-2. 使用システムのベンダー名（分かる範囲で）

- 病院情報システム：（☐ IBM、☐ Fujitsu、☐ NEC、☐ SSI、☐ その他（ ））
- 薬剤部門システム：（☐ 高園、☐ トーショー、☐ PHC(WEMEX)、☐ 湯山製作所、☐ その他（ ））
- レセプトコンピュータ・薬歴システム：（☐ EM システムズ、☐ 三菱電機、☐ PHC(WEMEX)、☐ ユニケ、☐ その他（ ））

Q4. あなたの施設・業務で利用している医薬品コードを全て選んでください（複数選択可）

- ☐ GTIN コード（GS1 バーコード 含む） 使用している包装単位: ☐ 販売包装 ☐ 調剤包装 ☐ 元梱包装
- ☐ 薬価基準収載医薬品コード
- ☐ YJ コード（個別医薬品コード）
- ☐ HOT コード
- ☐ レセプト 電算コード
- ☐ 院内独自コード
- ☐ その他（具体的に: ）

Q5. Q4 で選択した医薬品コードについて、どの業務で使用しているか教えてください

下表の該当する箇所に✓を入れてください。（使用していない業務は空欄のままで結構です）

コード名	コードの種類	在庫管理 (物流)	処方 (病院情報)	調剤・鑑査 (薬剤部門)	レセプト請求 (医事)	その他
GTIN コード						
薬価基準収載コード						
YJ コード						
HOT コード						
レセプト 電算コード						
院内独自コード						
その他						

- ※「その他」で使用している業務があれば具体的にご記入ください:

Q6. あなたの施設では、医薬品マスタで複数の医薬品コードを管理していますか？

- ☐ 1. はい → Q7、Q8 へお進みください
- ☐ 2. いいえ → Q9 へお進みください
- ☐ 3. わからない → Q9 へお進みください

Q7. (Q6 で「1. はい」と答えた方のみ) どのコードを基軸 (マスタのキー) として管理していますか？

- ☐ 1. GTIN コード
- ☐ 2. 薬価基準収載医薬品コード
- ☐ 3. YJ コード
- ☐ 4. HOT コード
- ☐ 5. レセプト 電算コード
- ☐ 6. 院内独自コード
- ☐ 7. その他 ()
- ☐ 8. わからない

Q8. (Q6 で「1. はい」と答えた方のみ) 複数システム間の対応付け (マッピング) について教えてください

(1) マッピング作業の頻度

- ☐ ほぼ毎日 ☐ 週に数回 ☐ 月に数回 ☐ 採用医薬品変更時のみ ☐ 随時 ☐ 実施していない

(2) マッピング作業の方法 (複数選択可)

- ☐ 手作業で対応表を作成している
- ☐ 公的機関等が提供するデータベースを参照している (例：厚労省薬価基準収載品目リスト、MEDIS 医薬品 HOT コードマスター、CAPS 個別医薬品コードリスト等)
- ☐ 民間の医薬品データベースサービスを利用している (例：医薬情報研究所、JAPIC、メディコード等)
- ☐ 調剤機器メーカー提供のデータベースを使用している (例：トーショー、湯山製作所等)
- ☐ システムベンダー提供のデータベースを使用している (例：インフォコム、データインデックス、メディカルデータベース、ユースウェア等)
- ☐ 自動マッピング機能・ツールを使用している
- ☐ その他 ()

(3) システム間での医薬品マスタ情報の連携について教えてください。(例：病院情報システムと薬剤部門システム、薬剤部門システムと在庫管理システムなど)

- ☐ システム間で自動的に連携できている
- ☐ 一部のシステム間のみ連携できている
- ☐ 連携できておらず、手作業で対応している
- ☐ 連携できていないので、何もしていない
- ☐ わからない

(4)「連携できている」と回答した方にお伺いします。どのような方法で連携していますか？ 具体的にお書きください。
(例：データベースの共有、API 連携、ファイル連携、目視 + 手入力など)

(5) マッピング作業で困っていることがあれば、具体的にお書きください

Part 3 医薬品コードに関する課題とニーズ

Q9. 医薬品コードの使用に関して、困ったことや課題がありますか?(複数選択可)

- ☐ 同じ医薬品に複数のコードが存在し、混乱する
- ☐ システム間でコードが統一されておらず、手作業での対応が必要
- ☐ コード変更時の更新作業が煩雑である
- ☐ 後発品や類似薬のコード管理が複雑である
- ☐ バーコードに記載されているコードとシステムのコードが一致しない
- ☐ 検査試薬や特殊医薬品（血液製剤、麻薬等）のコード管理が困難である
- ☐ 医薬品情報（添付文書、規格変更等）とコードの紐付けが不明確である
- ☐ 疑義照会や取り違え防止に必要な情報がコードから得られない
- ☐ 特に困ったことはない
- ☐ その他（具体的に： _____)

Q10. Q9 で選択した課題について、ご意見、お考えがありましたら教えてください。お考えなどを具体的にご自由にお書きください。

Q11. 医薬品コードの理想的なあり方について、ご意見をご自由ご記入ください。

以下のような観点や、その他の観点からお聞かせください。

- ・医療現場で使いやすいコード体系とは ・複数コードの統合や標準化について
- ・システム間連携の改善について ・医薬品安全管理への活用について ・GTIN コードの活用可能性について

ご協力ありがとうございました